

報 告

- ◎ [「子ども樹木博士」が開催される](#)
- ◎ [「夏休み昆虫教室」が開催される](#)
- ◎ [「もりの展示ルーム」夏休み一般公開終了](#)

◎ 「子ども樹木博士」が開催される

去る8月21日（土）、「子ども樹木博士」が開催されました。これは、子供たちに森林と環境と自然科学について興味を持ってもらうことを目的とし、樹木の名前をどれだけ正しく答えられたかに応じて段級を認定するもので、今年で5回目の開催になります。今回は、午前と午後の部の2回行い、付き添いの方を含め計58名の参加がありました。まず、講師と一緒に樹木園を散策し、出題される40種の樹木の葉や花・果実などの特徴を聞いたり観察した後、樹木の名前当てに挑戦し、正解数に応じた段級に従って子ども樹木博士認定証が手渡され、35名の子ども樹木博士が誕生しました。



講師による樹木の説明



試験会場の様子



子ども樹木博士認定証の授与

◎ 「夏休み昆虫教室」が開催される

去る8月28日（土）、「夏休み昆虫教室」が開催されました。自然をより身近なものとしてとらえ、子供たちに昆虫に慣れ親しんでもらい、また、夏休みの思い出の一つになればと企画したもので、今年で3回目の開催になります。今回は、午前・午後の部と行い、付き添いの方を含めて計75名の参加があり、講師から昆虫の取り方や使用する道具について説明が行われ、カブトムシとセミの標本作りに挑戦しました。



虫取り網についての説明を聞きました



こんな虫取り網で高いところの昆虫を捕まえるんだって！



カブトムシの標本を作成中



顕微鏡で昆虫の細部を観察しています

◎ 「もりの展示ルーム」夏休み一般公開終了

市民団体「うしく里山の会」のご協力をいただき、7月24日から夏休み特別イベントとして公開を行っていた生物多様性研究棟「もりの展示ルーム」の一般公開が8月31日に終了しました。同展示ルームはつくばちびっ子博士の会場も兼ねていたことから、親子連れなど、35日間で1,107名の来場がありました。さまざまな動物の毛皮に触れたり、木材標本の重さや肌触りを実感したり、木のパズルに挑戦するなど、毎日たくさんの方で賑わいました。

